

体育館を開放しています

毎日、昼食後に体育館を開放しています。学年を問わず一緒に遊ぶ風景はとても和やかです。



校長室からこんにちは 『最近、思うこと』 首席 水上明生

この山滝中学校に努めて5年半。たくさんの方に悩んできたが、その都度、行き着く考えはいつも同じ。

中学校という時期は人生でわずか3年間しかない。しかし、されど3年間。この3年間はじつに大きく変わる時期でもある。例えば、目に見える変化だけでも、子供から大人へと体も大きく成長する。

我々中学校教員は、つい先日の3月までランドセルを背負っていた子供たちと4月の入学式に出会う。そして、そこから3年後。早い人は社会に出て、社会人の一人として世に出ることになる。すなわち、中学校の3年間は、「ランドセルから社会人」と言い換えることができるかもしれない。

中学校生活の中では、大小様々、日々何らかのトラブルが起きる。当然のことである。トラブルが起こること自体は悪いことではない。実際、トラブルをきっかけに他者理解が深まったり、より強い信頼関係が生まれたりもする。大切なのは、トラブルが起こった後。自分本位にならず、相手の気持ちをおしはかり、反省し、原因を追求し、解決に向けての方法を模索し、実行に移す。社会人なら当然のようにできないといけないことであると思う。何でもかんでも相手の責任にして、自分は悪くない、を突き通すような行動をしていては、仕事もうまくいかないだろう。例えば、商売人が、店が繁盛しないのを客の責任にしているのは客が減るだろう。営業職の人が、取引がうまくいかないことを取引先の責任にしているのは、まちがいなく会社がつぶれるだろう。

ランドセルをおろしたばかりの子どもに、このことを理解させるのは難しい。ケンカして自分が悪かった。委員会がまとまらなくて、自分が悪かった。仕事がうまく回らなくて、自分が悪かった。なかなか難しい。でも、その都度、しっかり考えて、相手の責任にせず、原因を追求し、反省の気持ちを行動に表す。難しいが、これを続けるしかないと思う。

大切なのはトラブルが起こった後。トラブルが起こった時こそ成長するチャンス。小さなトラブルから大きなトラブルまで、日々様々なトラブルこそチャンスととらえ、悩み、考え、行動して行ってほしい。

我々中学校教員の仕事は、そういう人を全力サポートすること。問題を解決してあげることではない。問題を解決する力を身に付けられるように全力でサポートしていきたいと思う。

秋の全国交通安全運動 始まります 9/21(木)～9/30(土)

運動期間は自分の交通マナーを振り返る良いきっかけになります。自他の命を大切に！！

